

250年以上も前に
竹島を日本地図に描いた
水戸の儒学者！

領土・主権展示館 特別展示

いったい何者？ 江戸の地図男！

SEKISUI NAGAKUBO

長久保赤水展

2018.7.2^{mon} - 8.4^{sat}

[会場] 市政会館 地下1階

入場無料

[開館時間] 10:00~18:00

[休館日] 土・日・祝 (7月21日・8月4日は開館(11:00~17:00))

共催：長久保赤水顕彰会



協力：国土地理院、国立天文台

後援：茨城県、茨城県教育委員会、高萩市、高萩市教育委員会

領土・主権展示館

領土・主権展示館

検索

NATIONAL MUSEUM OF
TERRITORY AND SOVEREIGNTY

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-3 市政会館地下1階 TEL/FAX 03-6257-3715

左：長赤水先生肖像(茨城県立図書館蔵)

上：改正日本輿地路程全図(安永8年)初版(高萩市歴史民俗資料館蔵・長久保赤水顕彰会寄託)

いったい何者？ 江戸の地図男！

なが く ぼ せき すい 長久保赤水展



天経或問 天 (高萩市歴史民俗資料館蔵)

江戸時代の庶民にとっての日本地図とは、伊能忠敬が作った「伊能図」ではなく、実は長久保赤水(ながくぼせきすい)が作った「赤水図(せきすいず)」であったことはあまり知られていません。

長久保赤水は、約300年前の1717(享保2)年、現在の茨城県高萩市に生を受けました。赤水は、長年考証を重ね、1779(安永8)年、63歳の時、「改正日本輿地路程全図」(赤水図)を完成させました。本展では、赤水図の作成過程や、赤水が作成したその他の地図や書物を紹介し、赤水の足跡を辿ります。



自画像 (高萩市歴史民俗資料館所蔵)

吉田松陰も絶賛！

江戸

江戸のストリートビュー「赤水図」

国際人の先駆け、 長久保赤水

馬場 章 (ばば あきら)

学校法人 滋慶学園グループ 名誉教育顧問、東京大学元教授

現在、ドイツ、オランダ、イギリスの各地に分かれて伝来するシーボルトの膨大な日本コレクション。それらのなかから複数の「赤水図」を発見した時の感動は、20年以上経った今でも鮮明だ。「赤水図」が江戸時代のアメリカ、フランス、ロシア政府にも渡って、日本に関する貴重な情報源となっていたことも判明した。「鎖国」と呼ばれる時代に赤水自身は海外に渡ることはなかった。しかし、赤水は、彼が製作した日本地図を通じて、確かに国際人だったのだ。

イベント情報

ギャラリートーク

【日時】平成30年 ①7月21日(土)、②8月4日(土)
【講師】佐川春久氏(長久保赤水顕彰会会長)
【参加費】無料 【参加方法】当日受付

マンガ教室

【日時】平成30年 ①8月1日(水)、②8月2日(木)
【講師】マンガ「長久保赤水物語」作者 黒澤 貴子氏、原 康隆氏
【対象】小学校3年生以上 【参加費】無料 【参加方法】事前申込制
※詳しくは、領土・主権展示館のホームページをご覧ください。

領土・主権展示館

NATIONAL MUSEUM OF
TERRITORY AND SOVEREIGNTY

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-3
市政会館地下1階 TEL/FAX 03-6257-3715

領土・主権展示館

検索

●都営地下鉄三田線「内幸町」下車(A7)出口より徒歩2分 ●東京メトロ丸の内線「霞ヶ関」下車(B2)出口より徒歩4分 ●東京メトロ千代田線「霞ヶ関」下車(C1)出口より徒歩3分 ●東京メトロ千代田線又は日比谷線「日比谷」下車(A14)出口より徒歩3分

